

第二期 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会 第二回会議（平成 23 年 11 月 17 日） 傍聴者意見

土手の考えについて、築山にしてなだらかな山の形をつくり変化を富ませる方法（パークタウン団地の中にある）



駐車場 現クリーンセンターの地下施設の有効利用が可能かどうか

デザインのコンセプト カタカナでなく「現代風で暖色系の」とかにして下さい。

「ごみの歴史」を学ぶことができるという表現の中に武蔵野市の市民参加・市民活動（減量の歴史）なども含めた歴史にするべきだと思う。なぜなら、特異な経験をしてクリーンセンター（ごみ処理施設）建設に至ったことは市民ひとりひとりが学んでほしい大切なことであるから。

なお、見学者ホールスクリーンの後にしかけをして説明を終了したのち窓の外の景色が見えるような驚きがある演出はどうでしょうか。（例 茨城県立自然博物館やアサヒビール茨城工場のような）クリーンセンターの周辺の景観のすばらしさをあらためて見学者にも体感してもらいたい。

さらに、アサヒビール工場のように、中央制御室を上から覗き込むような見せ方もありかな・・・と思う。